

【専門医派遣31】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 平戸市立度島中学校

実施日 令和4年11月14日(月)

場 所 平戸市立度島小中学校

講 師 中山 吉則 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (1~3) 学年	学校職員	保護者	その他 ()
	(13) 人	(7) 人	() 人	() 人

テーマ【 思春期って何だろう？性って何だろう？ 】

テーマと
内 容

内容(具体的に)

- ・思春期の体の変化(時期、心の変化等)
- ・産婦人科医の仕事について
- ・二次性徴について
- ・子宮がん(子宮頸がんワクチンの勧め)
- ・女子の体の変化(月経のしくみ・リズム・悩み等)
- ・男性の体の変化(射精・悩み・ケアの仕方等)

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・思春期は、子どもの体から大人の体へと、変化が一番あり、戸惑いや心の動揺があることや、体の発育には、個人差があること等を教えていただき、人と比べる必要はないことや、悩みや心配ごとがあるときには、相談したり、受診したりしたいという感想が多くあった。
- ・子宮頸がんは予防ができるがんということで、今の時期にワクチンを打っておくことをお勧めする。
- ・妊娠できる時期は、限られていることを覚えておいてほしい。月経がある間は、妊娠できるというわけではない。今は中学生でまだ早い、特に女性は、将来子どもが欲しいと希望するのであれば、このことを覚えておいてほしい。

【専門医派遣32】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 松浦市立鷹島中学校

実施日 令和5年2月6日（月）

場 所 鷹島中学校体育館

講 師 中山 吉則 氏 （産婦人科医）

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他（ ）

参加者	生徒 (全) 学年	学校職員	保護者	その他 ()
	(41) 人	(9)人	()人	()人

テーマ【 思春期のこころとからだ 】

内容(具体的に)

- ・産婦人科医とは（主な診療内容）
- ・妊娠、出産（妊娠の仕組み、人工妊娠中絶）
- ・二次性徴、思春期の心と体について（男女の違い、思春期に起こる不調）
- ・性感染症（淋病・梅毒・性器クラミジア感染症）
- ・子宮がん、子宮頸がん（子宮頸がんワクチン）
- ・月経痛について（無月経・生理不順・月経困難症）
- ・命の誕生について（遺伝子についてなど）

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

講師の先生から、思春期に起こる心と体の変化などについて、専門医の立場から詳しくお話いただいた。特に「思春期は体の成長に心が追い付かず、不調を起こすことがある。」ということ伝えていただいたことで、悩んだり葛藤したりする生徒が正しい知識を得られ、安心につながった様子であった。また、「みなさんは命のリレーの一員。先祖代々の遺伝子が受け継がれている。自分一人の命じゃないということ覚えておいてください」という言葉に、生徒も感銘を受けたようだった。

<生徒の感想>

- ・多くの中学生、高校生も不安などがあることがわかったので、何か気になることや悩みがあったら相談しようと思います。
- ・自分の体に起きる変化に不安やとまどいが少なからずあったので、講話を聴けてよかったです。
- ・命はたくさんの人からつながっていることを知ったので、これからも受け継いだ命を大切に生きようと思いました。
- ・思春期の私たちは特に、性についての学習から逃げてしまうこともありますが、とても身近なことであり、今の私たちにも、将来の私たちにも必要な知識だと思うので、今回教えてもらったことを忘れずに過ごしていきたいです。

【専門医派遣33】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 松浦市立志佐中学校

実施日 令和5年2月2日(木)

場 所 本校体育館

講 師 東島 博 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話)・職員研修・その他()

参加者	生徒	学校職員	保護者	その他
	(3) 学年 (72) 人	(8) 人	() 人	() 人

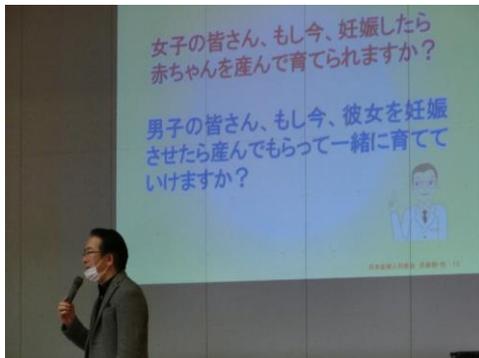
テーマ【 思春期のからだところ 】

テーマと内容

内容(具体的に)

- ・思春期って何だろう
- ・女子の体の変化 ・男子の体
- ・妊娠と出産
- ・子宮頸がん、ワクチン接種について
- ・多様な性(LGBT)について

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・生徒の行動変容等>

成長に伴う体の変化、妊娠などは保健体育でも扱う内容ではあるが、専門医(産婦人科医)が話をする、ということで、生徒の受け取り方も違うと思う。例えば、生理痛がひどいときは痛み止めを上手に使ってもよいことを保健室でも話をすることがあるが、医師からの話を聞くことでさらに安心できたようだ。

また、子宮頸がん予防のためのワクチン接種について時間をかけて話をされた。感想の中にも前向きにとらえている意見が多く見られた。人を好きになり付き合うことは悪いことではない、ただ相手のことを考えての行動をしてほしい。男女間だけでなく、いろんな人とのかわりでも、互いを思いやることや責任ある行動をとることが大切である。

【専門医派遣34】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立小浜高等学校

実施日	令和4年7月13日(水)			
場所	本校 視聴覚室			
講師	医療法人 いその産婦人科 磯野 潔 氏 (産婦人科医)			
形態	・講話 () ・職員研修 ・その他()			
参加者	生徒 (2, 3) 学年 (56) 人	学校職員 (10) 人	保護者 () 人	その他 () 人
	<p>テーマ【 <u>かけがえのない大切ないのち</u> 】</p> <p>内容(具体的に)</p> <p>○7月13日は「生命尊重の日」</p> <p>○現代の青少年の性感染症について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症についての解説と現状 ・日本におけるセーフセックス教育(コンドーム教育)とアメリカにおけるアブスティナンス教育の違い <p>○「小さないのちを守る会(PLJ)」の概要と働きについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養子縁組と普通養子縁組の比較 ・ドイツの赤ちゃんポスト(ベビークラッペ)の紹介 ・こうのとりのゆりかご(熊本 慈恵病院)の紹介、故・蓮田太二前理事長の言葉朗読 ・クリニックにおける働きを紹介(PLJ協力機関として特別養子縁組あっせん事業) 			

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

若者の性の自由化が進み、そのような中で思いがけない妊娠が後を絶たず、その結果、中絶選択率は年齢が若いほど上昇している現状や性感染症について詳しく解説していただいた。クリニックで26年に渡り取り組みをされている、小さな命を守り、繋ぐ特別養子縁組の話は、初めて聞いた生徒が多く、自他ともに「命は尊い」とものとする貴重な時間となった。

生徒達の感想にも「性感染症の恐ろしさと命の尊さについて深く学んだ」「様々な理由で育てることができなくても、小さな命を助けることができる特別養子縁組の話聞いて良かった」「10代の少女が赤ちゃんを産んで殺してしまうという話はとても恐ろしいと感じた。たくさんの命を救うためにもしっかり理解して守っていきたい」「『君は愛されるために生まれた』という言葉は素敵だ。自分の命も、人の命も大切にしていきたい」などの記載があり、正しい性についての知識を深めるとともに、今ここにある自分の命の尊さを実感し、更にこれから将来に向けてどう行動すべきかを考えるきっかけになったと感じている。

【専門医派遣35】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立島原高等学校

実施日 令和5年2月8日(水)

場 所 体育館

講 師 関本 眞由美 氏 (内科・婦人科医)

形 態 ・講話・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (1, 2) 学年 (350) 人	学校職員 (33) 人	保護者 () 人	その他 () ----- () 人
-----	--------------------------------	------------------	--------------	------------------------------

テーマ【 性に関する教育 】

テーマと内容
内容(具体的に)
「性感染症の理解と予防」、「妊娠の知識(人工妊娠中絶、避妊)」、「男性のからだ」、「女性のからだ」に関する講話。男性と女性のからだの違い、LGBT や中絶、避妊の話では、お互いに相手を思いやるのが大切だという内容の講話で、生徒は真剣に聞いていた。

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

感想文から

「この講話のように性について教えてくれる機会があると差別的なことも減ってくるのではと感じた。」

「今回の講話で学んだ知識を大学や社会にでてから活かしていこうと思いました。」

「私の周りには友人・家族など、たくさん大切な人がいるので、大切な人を傷つけないように生活したい。」

【専門医派遣36】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 島原市立第三中学校

実施日 令和4年12月15日(木)

場 所 図書室

講 師 関本 眞由美 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話)・職員研修・その他()

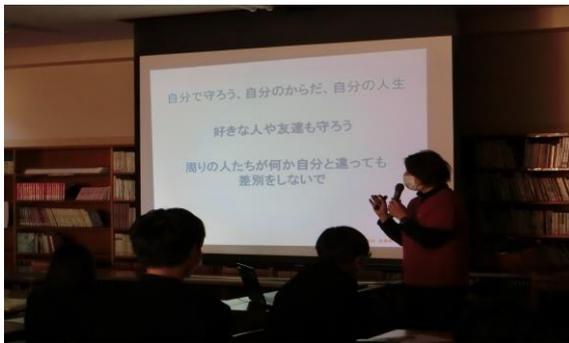
参加者	生徒 (3) 学年	学校職員	保護者	その他
	(50) 人	(7) 人	() 人	() 人

テーマ【 思春期って何だろう？性って何だろう？ 】

内容(具体的に)

- ・思春期の性、心と体の発達について (LGBTQ、二次性徴、妊娠と出産)
- ・性感染症の理解と予防 (様々な性感染症の種類、性感染症のサイン、HIV/AIDS)
- ・望まない妊娠や避妊について (自分自身で体や人生を守ること、差別をしないこと)

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

講師の関本先生とは、講話の1カ月前から約3回の打合せを行った。教科書の内容を含め、専門的な知識と本校生徒の実態に寄り添った内容とともに穏やかな口調での講話であり、1時間半全員が真剣な表情で聞いていた。特に、性感染症についての話は、メモをよくとっていた。インターネットの普及により様々な情報であふれている今日、どの情報が正しいのかを判断し、正しい知識を身に付けることが必要となっている。本校生徒も男女交際や性に関する興味がある生徒もいる中、大変印象に残る講話だった。正しい知識を身に付け、勇気をもって断ることがお互いの心身を守ることに繋がることや、差別や偏見は絶対してはいけないということが生徒の感想によく書かれていた。

【専門医派遣37】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立島原翔南高等学校

実施日 令和4年11月9日(水)

場 所 長崎県立島原翔南高等学校 産業社会と人間室

講 師 哲翁病院 院長 哲翁 正博 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話)・職員研修 ・その他()

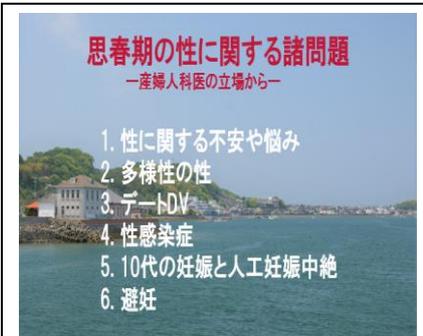
参加者	生徒	学校職員	保護者	その他
	(全) 学年 (91) 人	(26) 人	() 人	() 人

テーマ【思春期の性に関する諸問題 ～産婦人科医の立場から～】

内容(具体的に)
 事前に生徒に対し、「性に関して知りたいこと」についてアンケートをとり、結果を基に詳しく説明していただいた。

- ・性に関する不安や悩み
- ・多様な性
- ・デートDV
- ・性感染症
- ・10代の妊娠と人工妊娠中絶
- ・避妊
- ・相談機関 など

<当日の様子> * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・月経困難症の生活における影響は大きい。痛みを持続させず、早めに病院を受診することが大切。
- ・性には多様な形がある。LGBTの当事者は、日本人の8.9%。理解を深める必要がある。
- ・性感染症は感染した後、ほとんどの人は気づかないケースや、気づかぬうちに人にうつす危険があり、現在も国内では梅毒患者増加傾向にある。性交の結果、何がおこりうるか、望まない妊娠を避けるために、あなたはどうすべきか考えなければならない。
- ・男性も女性も平等であり、お互いの身体や気持ちの違いを理解し、尊重し合うことが大切。自分を大切に、自分の大切な人を大事に、これが生命の大切さにつながる。
- ・生徒たちからは、「知りたかった内容が沢山盛り込んであり、曖昧だった部分の理解につながった。」、「家族にも、学んだことを伝えたい」といった感想をきくことができ有意義な時間であった。

【専門医派遣38】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 南島原市立南有馬中学校

実施日 令和 4年7月7日(木)

場 所 南島原市立南有馬中学校 3年1組教室

講 師 宮崎恭子 氏 (産婦人科医)

形 態 講話

参加者	生徒 (3) 学年 (31) 人	学校職員 (6) 人	保護者 () 人	その他 (コミュニティスクール関係者) (2) 人

テーマ【 思春期の性と命の大切さを考える 】

内容

- ・第2次性徴期の体の変化について(性欲のコントロールとセルフプレジャー)
- ・月経の悩みや薬の服用の仕方
- ・妊娠、胎児の成長、子育てについて
- ・人工中絶による体の影響について
- ・子宮頸がんワクチン予防について
- ・安全なセックスと性感染症について
- ・デートDVやプライベートゾーンを守るということについて

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

生理において気になることがある場合は、悩まず病院で受診をして欲しいという助言をいただいた。講話の後、生理不順等で困っているので病院の受診を試みようとする生徒もでてきた。また、講話では専門的な知識だけでなく、命や相手を思いやる心の大切さを話していただき、生徒は相手を尊重し、正しい行動ができるようにしたいと命や性に対する考えを深めていた。

【専門医派遣39】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 南島原市立布津中学校

実施日 令和4年12月2日(金)

場 所 南島原市立布津中学校 学習室

講 師 吉田 至幸 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話)・職員研修・その他()

参加者	生徒 (3) 学年 (40) 人	学校職員 (4) 人	保護者 () 人	その他 () 人

テーマ【 生と性について考える 】

内容(具体的に)

- ・思春期の性
- ・妊娠と出産
- ・中絶と避妊
- ・性感染症
- ・子宮頸がん

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・ 思春期における性の悩み(男子・女子)の統計から、月経や性器について悩むことは当然のことであり、だんだんと悩みはなくなってくる。
- ・ 射精を迎えた男子、月経を迎えた女子は妊娠する可能性がある。分娩のDVDから、出産は命がけであるため、命を大切にしてほしい。
- ・ 人工妊娠中絶は妊娠22週までであり、妊娠に気づいたときには、考える時間がないことも多い。
- ・ 望まない妊娠を避ける方法として、産み育てられる年齢まで性交をしない、正しく避妊する。人工妊娠中絶は女の人に与える影響(身体・心)が大きい、大事な人を守るためにも、男子もしっかり考えてほしい。
- ・ 性感染症は症状があまりないので、気づかぬうちに感染させている場合もある。また、子どもを産めなくなることもある。
- ・ 子宮頸がんは増加しており、HPV ワクチンも選択肢の一つである。

【成果】

- ・ 生命の誕生は奇跡であり、両親に感謝したいという生徒がいた。
- ・ 望まない妊娠を避けるため、責任をもつこと、相手を思いやることの大切さを実感していた。
- ・ 性感染症について知識を習得することができた。

【専門医派遣40】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 五島市立岐宿中学校

実施日 令和4年9月26日(月)

場 所 五島市立岐宿中学校 体育館

講 師 池田 陽子 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話)・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (全) 学年 (58) 人	学校職員 (3) 人	保護者 () 人	その他 () ----- () 人

テーマ【 思春期の性について 】

テーマと
内 容

内容(具体的に)

- ①DVD 鑑賞(思春期の体について)
- ②結婚適齢期と出産適齢期について
- ③低用量ピルについて
- ④LGBTQ について
- ⑤子宮頸がんワクチンについて
- ⑥デートDV について

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・対象を1年生のみで申込みをしていたが、「今後就職等で、性に関することを学ぶ機会がないかもしれない3年生にこそ授業をさせてほしい」とのことで、対象を全学年へ変更させていただいた。
- ・質問や相談があるときは、産婦人科を受診したり、受診がしにくければ保健室経由で質問や相談をしてほしい。産婦人科を受診することは恥ずかしいことではない。
- ・インターネットで性に関することを調べる時は、その情報は正しいのか見極めること。
- ・生徒から、「思っていたより細かくお話されたので驚いたけど、勉強になりました」「自分も相手も大切にしていきたい」「成長に個人差があるとわかって安心した」などの声が聞かれた。実際に講師の病院へ通院している方の例もお話ししていただけたので、「困ったこと・気になることがあった時は受診しよう」という意識もできた様子である。